

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4372500704
法人名	社会福祉法人 不動会
事業所名	グループホーム おとぎの国
所在地	熊本県山鹿市鹿本町津袋585
自己評価作成日	令和6年 3月 1日
評価結果市町村報告日	令和6年 4月 20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://search.kaigo-kouhyou-kumamoto.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 九州評価機構
所在地	熊本市中央区神水2丁目5番22号
訪問調査日	令和6年3月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

おとぎの国の周囲は整備された庭園があり、南欧風に統一された建物は優雅さと安らぎを与えている。建物内は食堂や居間があり、利用者同士のお互いの顔を見て安心したり、思い思いに楽しんで過ごして頂けるようテレビや家具等を設置する等、環境整備を行っている。また一人の時間を大切に過ごせるよう居室はクローゼット、洗面所があり機能面も充実している。GHの理念に沿って、利用者の要望やご家族の意向等を職員全員で把握し、ケアプランへ反映している。また利用者一人一人に寄り添った支援や対応を行っている。食事は利用者の好物や管理栄養士指示のもと、嚥下状態や健康状態に合わせた食事作りを行っている。コロナ禍でもご家族との時間を楽しんで頂けるよう感染予防に努めながら、面会を実施している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然に囲まれ、温かみを感じる事業所では、「笑顔で明るく優しい介護」を法人理念、「あせらず、くさらず、のんびりと…」を事業所理念としたケアがなされています。コロナ禍であったこの数年、特に今年度は感染症対策や職員交代、入居者の状態変化等で慌ただしい時間があっただけでも聞かれました。グループホームとして何より大切にしておられる理念の実現と「ゆったりとした生活」を叶えるため「反省する場面もあった」との声もありましたが、入居者や家族の思いに寄り添った介護の実践のため声を掛け合いながらケアに臨まれた姿勢を感じました。感染症対策で面会制限も余儀なくされた時期もあった中、毎週面会に見える家族もおられ、担当者会議にも家族に参加頂けるよう声を掛ける等、共に入居者を支える姿は従来より変わらないものでした。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができて (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念、基本方針とグループホーム独自の理念、職員憲章等を念頭におき、サービスを提供している。申し送りや会議時には、理念を基にした振り返りを行い、実践につなげてきている。	法人理念・基本方針、事業所理念等を掲示している。今年度は感染症対策や職員の入退職により振り返りや反省する機会を持ちながら、改めて理念の共有を図る声掛け等を継続して行ってきた。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	本年度も感染予防の為、地域の行事には参加していない。	法人で持つバラ園の開放等、住民や知人の来訪で法人と地域との関わりは見られるが、感染症対策もあり、入居者との交流は難しい状況であった。運営推進会議を通じ、地域との交流が再開されつつある。	事業所としての地域とのつきあいは感染症予防に配慮しながら再開されている様子が聞かれました。可能となった際には、入居者と地域の関わり再開に期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方へ認知症等に対する相談にも応じ、施設側からも徘徊者が出た場合の協力をお願いしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は2ヶ月ごとに開催し、メンバーは家族代表、区長、老人会長、民生児童委員、警察駐在員、市役所職員、等で構成している。GHでの日常生活の紹介、事業計画や外部評価内容等も報告し、意見を求めている。	今年度はできるだけ対面での会議開催を行い、感染症流行状況により都度開催を検討した。地域の協力もみられ、会議を通じ地域との交流や情報交換も再開しているところである。次年度より対面での開催を基本とし計画している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議へは、毎回、市役所の長寿支援課からの出席があつている。その際に情報交換等を行いながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議開催時には市役所及び地域包括支援センターからの参加があり、事業所の取り組みや状況を伝え、意見を得るとともに情報交換を行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束をしないケア」は法人全体の方針であり、職員全員が十分に理解している。さらに、法人内外の研修や学習会(身体拘束適正化委員会)に参加し、理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んできている。	法人全体の方針で「身体拘束をしないケア」に取り組んでおり、法人で開催する「身体拘束適正化委員会」に担当職員が参加し、後に事業所勉強会等で共有している。	現在は検討が必要な事例もみられないようでしたが、委員会で検討された事項の共有や、事業所内での学び・事例検討等を記録することも共有に繋がると考えます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の事例はなく、職員会議でも勉強会を行い虐待ゼロに向け全員で取り組んできている。		

グループホームおとぎの国

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前入居されていた利用者がこの制度を活用されており、研修会でも学んできている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者のご家族の方に、説明し理解を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話での受付や第三者機関を定めている。法人施設にも投書箱を設置し、寄せられた意見や要望等は真摯に受け止め、改善等に取り組む体制を整えている。	感染症対策により常時面会を受入れることは難しい状況もあったが、できるだけ家族の面会は受け入れ、入居者の状況を説明し意見や要望を確認している。担当者会議には家族の参加を頂けるよう声掛けを行い、ケアの説明及び要望等をうかがっている。日頃も入居者の様子を電話等で伝えており、意見を表しやすい環境作りに努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	GH会議では自由に意見を出し合える雰囲気と時間がある。GHの理念は、当時のスタッフ全員の意見から生まれており、行事や環境・ケアプラン等の改善に活用し反映している。	職員は日頃から管理者に意見や提案を表すことができ、管理者も都度職員の意見や提案について検討を行っている。毎月の職員会議でも自由に意見を出し合える体制であり、必要時応じ管理者より法人へ報告している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きがいのある職場であり、職員の資格取得支援体制も充実している。更に、自己評価や外部評価等に取り組むことで、自己分析と共に、職場環境や意識を改革し、向上させて行くことが出来る。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年、法人で施設内研修会(事例研修発表会)を実施している。GHブロック間研修会等にも参加し、知識向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GHブロック研修で定期的に講師を招き、問題点や取り組みの方法等を学びながら、サービス向上に向け取り組んでいる。本年度は講師で研修が中止になる等なかなか研修に参加することが出来なかった。		

グループホームおとぎの国

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	時間をかけて、対話や状態観察を行ってきている。又、本人が不安になられないようにと雰囲気や環境に配慮し関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時にも家族等と相談する機会を設け、要望等を聞き、安心されるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居日やその前後に、ご家族や担当ケアマネージャー等より情報を得て、相談しながら必要なサービス等を取り入れるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の目立支援に繋がるのか、楽しく過ごせているのかを念頭に置きながら、サービスを提供している。また、以前からの生活や本人が得意とされていたことを聞き、教わったりしながら、関係を築いていくようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に(年12回)写真入りの便りを発送し、面会時にも近況報告等を行い対話に努めている。感染症予防の為、病院受診等は出来るかぎりご家族支援でお願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍や感染予防の為、現在ほとんど行われていない。	感染症対策により外出や来訪受入れによる気軽な交流は難しい状況が続いた。今年度は家族行事への参加や、季節のドライブ等は行った。以前勤務していた職員の来訪等もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の相性の差はあるが、生活や行動を共にする中で、利用者同士の助け合いや共有の関係が出来るよう、支援に努めている。		

グループホームおとぎの国

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方や家族が来荘される時もある。また同一の法人内に移動されることもされることもある為、退所時にも気兼ねなく声を掛けるよう伝えている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの奥にある思いや希望する暮らし方などの把握に努め、本人の意向を第一に(困難な場合には、表情や反応から検討した本人の思い・家族としての思い等…)考え支援している。	思いを表すことができる入居者も数名おられる。思いの表出が難しい入居者には表情や仕草、家族の意向等も確認している。買い物等の希望がみられた際には、毎週来訪頂く移動販売車へ入居者と一緒に行き物に出向く。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族、知人、前担当ケアマネジャー等からの情報を得て把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人との対話やスタッフ間での確認・観察記録等での情報により、現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族の要望をくみ取りながらも、利用者の残存機能をどう活用していくか、どう向き合い何を大切に取り組んでいくか等を話し合い、現状に即した介護計画を作成している。	毎月の職員会議で入居者に関する課題やケアの状況等について意見を出し合っている。介護計画作成・見直しの際にはかかりつけ医より意見を、担当者会議には家族・医師の参加もある。介護計画見直しが必要時にはケアマネージャーもしくは管理者より直接家族へ説明を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	受診や目立った変化等がある場合には、個人日誌の特記事項として記録する。本人の体調・状態の変化に応じた対応を行い、プランの見直しにも活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人の施設には、多種多様のケアサービス体制が出来ており、それらを活用し、その時々生まれるニーズに対応して、生きがいや喜びを感じられる様な柔軟な支援ができるように取り組んできている。		

グループホームおとぎの国

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	支援できている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望される医療機関で適切な医療を受けられるように関係を築いており、情報も提供している。	入居以前からのかかりつけ医の継続した受診を支援している。現状は協力医をかかりつけ医とする入居者が殆どである。協力医への通院は職員による。専門医等への通院はできるだけ家族への協力も依頼しているが、職員介助による通院も行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の個々の体調や状態の変化に応じて、適切な受診や看護支援が受けられるよう協働している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	状態変化や状況に応じて、早期の対応が出来るよう医療機関との関係づくりを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時より、重度化された場合の事業所で出来る範囲の対応について説明し理解を得ている。終末期となる時期には再度家族と話し合いをし、医療に関する希望を確認しながら対応している。「可能であれば、終末期もここでお願いしたい…」と希望されるご家族もおられる。	入居時に重度化や終末期に向けた方針と支援、事業所の対応について説明している。実際にその時期を迎える際にはかかりつけ医等及び家族との話し合いを重ね、支援を行っている。急な体調変化時にはかかりつけ医、又は隣接する法人事業所よりの支援体制も整っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当は職員全員が行えるよう勉強会を行ってきている。又、隣接の法人施設にはAEDを設置している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	GH単体で実施をしていたが、近年は感染予防の為、消防署立ち合いでの訓練が出来ていない。非常口、実際の動き等を職員同士確認している。	法人事業所が隣接しているため協力は得られる状況であるが、感染症対応等で近年事業所単体での避難訓練は実施できていない。日頃の業務内での説明は行っている。	火災を出さないことが第一ではありますが、近年の災害や自然災害等は予想を上回る事例も見られます。職員体制が厳しい状況では特に避難の難しさもあると思われるので、緊急時の職員対応や動き等、繰り返し確認し共有されることに期待します。

グループホームおとぎの国

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の尊厳とプライバシーの保護は施設の方針でもあり、一人ひとりの性格等に配慮した言葉かけや寄り添うケアを心掛けて来ている。	日頃の業務中や職員会議に職員間の話題とし啓発・共有している。職員間の情報はLINEにより共有する場面もあり、その際には入居者に関する情報はイニシャルを使用したり、情報取扱いへの注意等に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	誕生日や特別な日には本人の希望メニューを提供し喜びの声を頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床と就寝にも時間の幅を持たせており、行事のない昼間は、各々が思い思いのペースで過ごされる日が多い。食事の時間も本人の好きな時間に摂ってもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望により、訪問美容(理容)等を利用している。服装もその人らしい身だしなみ等ができるように相談しながら支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューやおやつ等、相談しながら決めている。感染予防に努めながら食事の準備や片付けなどを一緒に行っている。	毎日の食事は職員手作りを基本としており、入居者それぞれ誕生日のリクエストや行事食等、好みも考えた献立で提供している。提供した献立に基づき管理栄養士のアドバイスを毎月得ている。日々の調理の手伝いや保存食作り等、入居者のできる範囲での関わりは継続している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士のアドバイスを受け、栄養バランスや水分量に注意しながら行っている。又、季節感のある食材を取り入れ、食事を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	法人内に委員会を設け定期的に報告し、情報共有に努めている。問題がある場合には歯科医師や歯科衛生士にアドバイスを求めている。またケア用品を充実させ、口腔内の清潔保持に努めている。		

グループホームおとぎの国

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンに合わせ、早めの声かけと誘導、介助を行っている。9名中、8名の方が昼間トイレでの排泄を維持されている。	できるだけトイレでの排泄が維持されるよう、個々のペースに合わせ、声掛けや誘導等で支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の多い食材を使った料理と十分な水分補給・日中の運動等で、便秘予防・自然排便に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者の希望を確認し、気持ちよく入浴出来るように支援している。入浴中及びその前後には、見守り・安全確認と体調管理に対して特に注意を払っている。	入居者の体調や希望等も配慮し、週2回の入浴を基本としている。入浴は入居者に併せたペースで、安全に配慮しながら支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自立支援と各々の生活習慣が基本であるが、昼間の運動や入浴・活動的に過ごす等で夜間安眠出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬状況を書面で記録しており、効能や副作用、症状の変化等についても話し合い理解に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者それぞれの得意分野があり、得意なことを活用し、ハリのある生活を毎日送られるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	感染予防に努めながら、コスモスや菊人形の見学を実施し季節を感じて頂いている。	感染症対策を行いながら、季節の花見や道の駅訪問、菊人形見学等、ドライブに出向いた。天気が良い日の庭散歩や草取り等は日常的に行っている。事業所には「光の庭」と名づけられた中庭があり、外出が難しい際にも光や風を感じることができる。	

グループホームおとぎの国

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	週に1回の訪問販売の際に、お金の支払いをお願いしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	便りや贈り物等へのお礼の他、本人の要望があれば、電話をかけ家族等と話をされている。遠方のご家族からの電話等は特に喜ばれ、毎年、年賀状も出している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物が吹き抜けて、二カ所のリビング(居間と食堂)がガラス越しに眺められる。光の庭や玄関の周りは、各々が一つの庭園であり、自然の光や季節の草花を楽しみながら過ごせるようになっている。	中庭を囲み一周することができる廊下の2ヶ所にリビングがあり、入居者は食卓だけでなく、ソファや思い思いの場所で過ごすことができる。敷地は季節の木花を楽しむことができ、外へ出ることのできる中庭でも外気を感じ、自然を感じることもできる。	自然の光と緑に囲まれ、温かい雰囲気での共用空間です。入居者の状況によっても過ごす場所の工夫もされていますが、自由に動ける環境であるか、安全へ配慮した環境であるか等の都度検討に期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	天気や気候に応じて、玄関横のベンチなどで外気浴をしたり、居間のソファや食堂で、気の合った人々と思い思いに過ごしたりもされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの家具(タンス、テーブル、椅子)を持ち込んで頂いている。	洗面台・クローゼットが備えられている居室には、入居以前からの使い慣れた生活用品の持ち込みを依頼している。入居者の生活習慣や安全面への配慮から、ベッド・布団等検討し対応している。居室それぞれの窓からは木花を眺めることができ、季節を感じることもできる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーの構造で、見通しもよく、各々の行動や居場所も確認しやすい。歩行器を見つけ運動される人や空いている居間のソファで談話したり休息される方々もおられる。		

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 GHおとぎの国

作成日 令和 6年 4月 20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	52	入居者様の動きに気をとられすぎてしまい、景観を気にせず、職員の動きやすい職員主体の環境を作っていました。	GHおとぎの国に携わる人々が気持ちよく過ごせる環境を整える。	個人記録等の情報は取り扱いに注意し、使用後は元の場所に戻すことを徹底する。入居者様居室、日頃多くの時間を過ごす共有スペースを気持ちよく利用して頂くため、整理整頓と清潔保持に努める。また季節の花を飾る等して施設内でも四季を感じて頂けるような環境作りも実施する。施設周りも環境を整えることで入居者様含め来訪される方々にも楽しんで頂けるような環境づくりを行う。	通年
2	35	感染症予防の為に、施設内に外部（消防署職員等）立ち合いのもとでの訓練が出来ていない。	年2回（6月）（12月）の災害訓練を実施する。	GH会議の中で、災害を想定した話し合いや連絡事項等の共有を行う。火災等想定し職員が実際に動いて行う避難訓練を実施する。	2か月
3	6	施設で身体拘束おける事例が無い為、職員の中で何が身体拘束にあたるのか理解が出来ていない部分がみられる。	身体拘束防止に対し理解を深める。	他施設での事例や職員のケアや介護が身体拘束になっていないかGH会議等で都度話し合い、ケアの統一化を図る。	通年
4	35	感染症予防の為に、施設内に外部（消防署職員等）立ち合いのもとでの訓練が出来ていない。	年2回（6月）（12月）の災害訓練を実施する。	GH会議の中で、災害を想定した話し合いや連絡事項等の共有を行う。火災等想定し職員が実際に動いて行う避難訓練を実施する。	2か月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

